



2017年度 MESC 総会報告

5月28日(日) 宮崎県福祉総合センターセミナールームⅢ

開会代表あいさつ (要旨)

当法人は設立して7年目になります。教育の情報化に関わる調査研究と学校現場のICT支援をミッションとして活動してきました。最近では活動内容が貧困世帯の中高生や引きこもり者に対する学習支援、あるいは障がい者等の自立就労支援にも広がっております。それは行政も含めて様々な支援団体と連携して活動するなかで、当法人に対する期待や要望から出てきたものです。いわば社会的要請として取り組まざるを得ない状況が出てきたということです。

NPO 法人の役割は何かといえば、行政や企業では手の届かないところに光を当てていく作業だとも言えます。それは必然的に今までの価値観や制度のとらえ直しを迫られます。教育の情報化も常にとらえ直しが必要です。そのなかで果たすべき役割も変化していかざるを得ません。事務所を置かせてもらっている

NPO 法人宮崎県ボランティア協会にいと様々な方が見えます。それらの人々と話しをするだけで、軽いカルチャーショックを受けることがあります。その場所が、何か社会に出ていけない人たちの居場所(解放区)になっていることに気づかれます。

私たちの強味は教育とICTスキルです。その強味を活かして、社会貢献、地域貢献につなげていければと思います。

NPO 法人みやざき教育支援協議会理事長 亀澤克憲

その後、議長に理事の村上啓一氏を選任し、議事に入り、平成28年度事業・会計報告、平成29年度事業計画・予算案、役員改選について審議いただき、全員異議なく原案・提案どおり可決されました。



フリースクールを求めて!

MESCが行う学習支援のなかで、引きこもりや不登校の中高生や若者が増えている現状に鑑み、総会終了後に教育座談会を開催しました。『みやざき不登校ゼミ』を主宰しておられる日高拓一氏に問題提起をお願いしました。

日高拓一氏ご自身がフリースクールに身を寄せられた経験を踏まえて、現在のフリースクールに関わる状況を概ね下記の6項目についてお話し頂きました。

1. フリースクールとは何か
2. フリースクール業界について
3. なぜ宮崎ではフリースクールは根付かなかったのか。
4. 多様な学びの保障法
5. フリースクールを見て
6. もしも自分がフリースクールを作るなら

フリースクールに求められる特別な背景、特に宮崎だけにある「宅習」という問題、カリキュラムにはゲームは必須、といった理解力、個性的な人達が集うフリースクール全国合宿の魅力、現在の若者にはびこる職業観(ユーチューバー)、学校不信や教科書検定問題などが話題になりました。

2017年度 教育座談会を開催しました。



日高氏は、フリースクールを「誰にも負けないスキルと、生きる楽しさを培う場にしたい」という固い決意を述べられました。

【参考情報】

- ・フリースクール全国ネットワーク [tp://freeschoolnetwork.jp](http://freeschoolnetwork.jp)
- ・フリースクールみなも <http://fs-minamo.c.ooco.jp>
- ・多様な学習機会の保障法を実現する会 <http://aejapan.org/wp/>
- ・ふりーすくーりんぐ(大阪) <http://freeschoolring.yukihotaru.com>
- ・フリースクールここ <http://npokoko.org>

「子ども・若者の貧困を考えるシンポジウム」を開催しました！

2017年3月12日（日）に、「ソーシャルワークから見た子ども・若者の貧困と支援のあり方」と題して、南九州大学都城キャンパス人間発達学部准教授の若宮邦彦先生に講演をお願いしました。

若宮先生の講演の後、5人のパネリストを中心に「井戸端会議」を開催しました。もう少し時間に余裕があればよかったのですが、少ない時間の中で、一般参加者の方々をはじめ、支援者や行政関係者からいろいろと意見が飛び交いました。



井戸端会議の様子



パネリストの皆さん（左から～）

亀澤克憲さん、嶋田喜代子さん、山元絵美さん、富井真紀さん、若宮邦彦先生

ICT サポートの取り組みと事業の拡大

当法人では、引きこもり者や障がい者の自立・就労支援として「楽々web 工房」を運営しています。年度末、年度初めに、学校から委託を受け、いろいろお手伝いさせていただきました。

1. web サイト作成
2. 学校図書館蔵書点検
3. 校務用パソコン設定
4. 生徒身分証明書作成

これは当法人が窓口になって、スキルのある引きこもり者や障がい者の方に作成や作業をしてもらいます。プロの技術者がサポーターとして付きますので、時間はかかりますが、安心して任せてもらえます。社会の役に立っているという自覚が自信につながり、自立・就労につないでいけたらと思っています。



図書館蔵書点検作業の様子

宮崎市民活動支援補助事業「未来みやざき ICT スキルアップ事業」を展開中
宮崎市では 15～65 歳の 15 人に 1 人が無業者（H22 国勢調査）となっています。
ICT スキルを身につけて就労につなげ、人材不足の解消にも役立てたいとする事業です。

学校現場の ITC 支援を推進しています。

学校 ICT サポート

引きこもり・障がい者等の自立就労支援
楽々web 工房

ホームページ制作	¥85,000 (税抜) 教育研修センター推奨 CMS 活用
グループウェア制作	¥85,000 (税抜) 教育研修センター推奨 CMS 活用
パソコン設定	¥5,000～/台 (税抜) 新規、更新 PC 校内ネットワーク設定等
生徒カード作成	¥100～/枚 (税抜) SchoolPRO2015 生徒システム活用
図書館蔵書点検	¥28,000+¥1.5/冊 (税抜) SchoolPRO 図書システム活用



お問い合わせ 0985-41-4451 info@npomesc.jp
つなぐ教育・つくる教育 宮崎県債権者登録 3034254
NPO 法人みやざき教育支援協議会
〒880-0007 宮崎市原町 2-22 宮崎県福祉総合センター内ボランティアセンター-2 号付

お問い合わせ（事務局）
〒880-8515 宮崎市原町 2-22
宮崎県福祉総合センター内ボランティアセンター-気付
特定非営利活動法人みやざき教育支援協議会
Tel・Fax0985-41-4451 info@npomesc.jp